

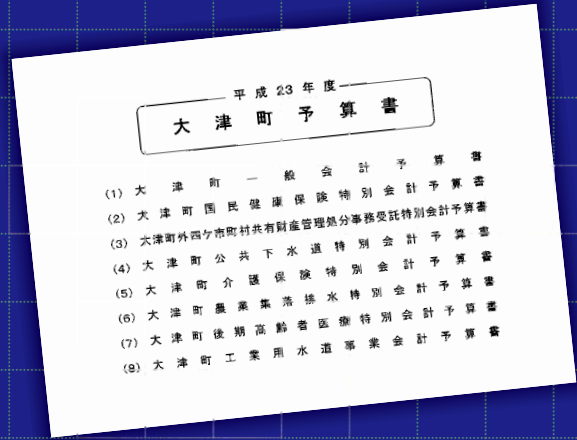
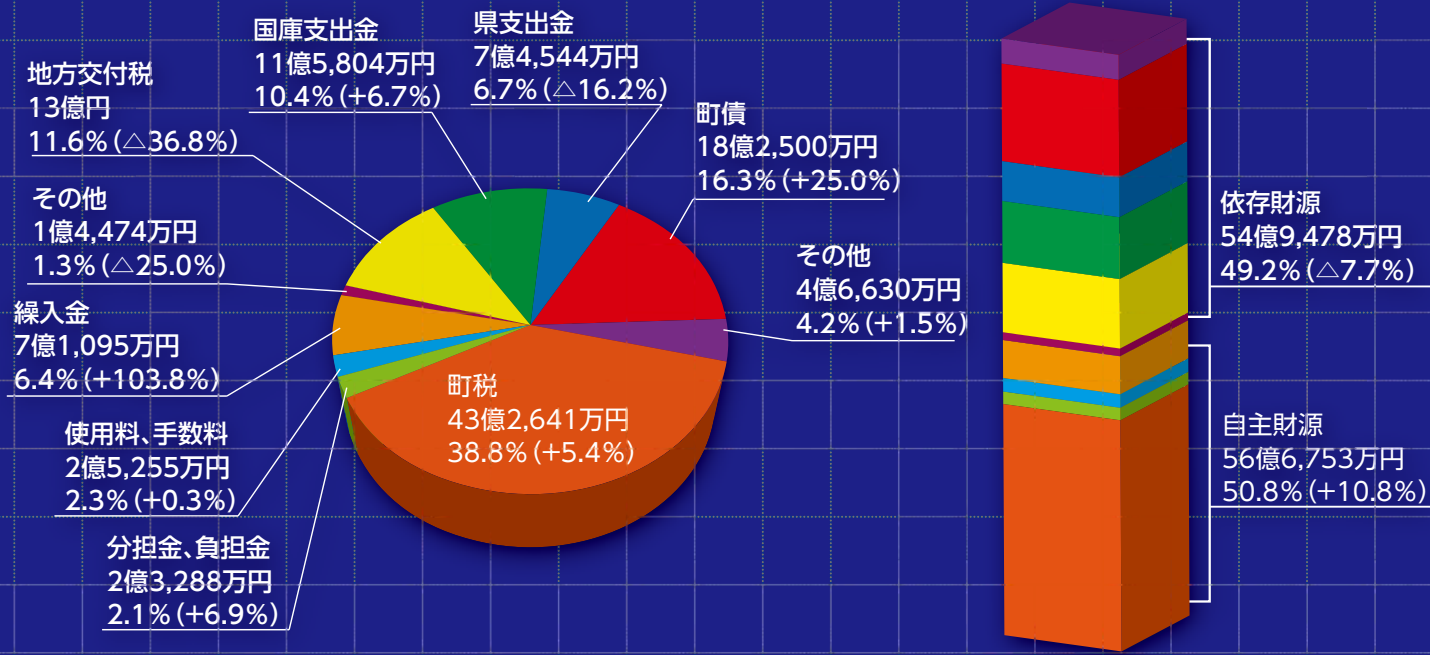
一般会計

一般会計予算は、新規事業の抑制や投資的事業の先送りと規模縮小、経常経費の積極的な削減を実施しましたが、社会保障関係や子育て関係事業費費の増、国民健康保険特別会計への繰出金の増額により、昨年を上回る予算編成となっています。

平成23年度の予算額は、一般会計で111億6,231万円です。対前年比9,200万円、0.83%の増額です。特別会計と合わせると182億3,180万円で、前年度の当初予算より5億9,203万円、3.38%の増額となっています。一般会計の予算規模は、菊池環境保全組合への負担金や大津北部の県営畑総事業などが減額になったものの、まちづくり交付金事業や国民健康保険特別会計への繰出金の増、各種予防接種事業の新設など、事業の拡充が影響して、前年度と比較して0.83%増の予算編成になっています。特別会計予算の総額は、70億6,949万円で対前年度に比べると、5億303万円の増額です。特別会計の予算規模は、工業用水道事業会計では減額になったものの、その他の特別会計（国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療）や公営企業会計（公共下水道、農業集落排水事業）で増額になっており、昨年度と比較すると予算規模は大幅に大きくなっています。個別に見ると、国民健康保険が2億1,633万円増額、共有財産が118万円増額、公共下水道が2億3,543万円増額、介護保険が3,619万円増額、農業集落排水事業が3,804万円の増額後期高齢者医療が806万円増額となり、工業用水道が2,882万円減額となっています。

今年の大津のお金の使い道を決める設計図

今年の予算が決まりました。
総額は182億3,180万円。
グラフを交えながら
ことしの予算をご紹介します



歳入 111億6,231万円

182億3,180万円

平成23年度 予算

依存財産は、前年度から見ての減額です。地方交付税は前年度から見て7億5千8百万円（△36.8%）の減額を見込んでいます。国庫支出金は児童増による私立保育所負担金の増額などの影響で大幅に増額していますが、県支出金は、保育所建設補助が無くなったことで減額となっています。町債はまちづくり交付金事業などの増に伴い25.0%の増額となっています。

自主財産は歳入全体の50.8%を占めていますが、前年比5億5千万円、10.8%の増額となっています。これはまちづくり交付金事業に伴う、公共設備整備基金と財源不足を補うための財政調整基金の繰り入れが大きく伸びたことが影響しています。町民税は昨年と比較し5千万円増額で計上しており、町税全体で2億2千万円（5.4%）の増額となっています。分担金負担金、使用料・手数料はほぼ前年度と同額です。繰入金は大きく3億6千2百万円（103.8%）の増額です。その他のうち、繰越金は昨年と同額となっています。

平成23年度の予算規模

会計名	予算額	対前年比
一般会計	111億6,231万円	+0.83%
国民健康保険特別会計	28億7,252万円	+8.14%
農業や自営業、退職者などの皆さんの保険給付や人間ドックなどの保健事業の会計		
大津町外四ヶ市町村共有財産 管理処分事務受託特別会計	361万円	+48.44%
大津町、南阿蘇村（旧長陽村）、菊陽町、菊池市（旧旭志村、旧泗水町）、合志市（旧合志町）の市町村で1,108%の共有財産、緑資源公団の分収育林管理などの会計		
公共下水道特別会計	14億179万円	+2.02%
生活環境の向上や河川の汚濁防止などのを目的に生活雑排水などの処理施設を整備する会計		

会計名	予算額	対前年比
介護保険特別会計	19億9,400万円	+1.85%
高齢者の皆さんの介護に関するサービス給付が主な会計		
農業集落排水特別会計	4億9,354万円	+8.35%
農村地帯の生活環境の向上と河川の汚濁防止などを目的に生活雑排水などの処理施設を整備する会計		
後期高齢者医療特別会計	2億5,192万円	+3.31%
熊本県後期高齢者医療広域連合が行う後期高齢者の皆さんの医療給付に伴う保険料、健診などが主な会計		
工業用水道事業会計	5,211万円	△35.61%
熊本中核工業団地内の工場で使用される工業用の水道給水を行うために設けられた独立採算制の会計		
合計	182億3,180万円	+3.38%